

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、当研究に情報を利用することをご理解いただけない場合につきましても、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

〔研究課題名〕 浅大腿動脈をレシピエント血管とする遊離皮弁による膝周囲軟部組織欠損再建

〔研究機関〕 帯広厚生病院整形外科

〔研究責任者〕 本宮真（帯広厚生病院リハビリテーション科部長、整形外科）

〔研究の目的〕 膝周囲のケガや手術によって生じる皮膚や筋肉の損傷は、日常生活に大きな影響を及ぼすことがあります。このような損傷を治療するため、遊離皮弁という手術が行われます。この手術では、体の別の部分から皮膚や筋肉を移植して、損傷した部分を修復します。しかし、どのような血管を使うかは非常に重要です。膝周囲の遊離皮弁を移植する際、血管の選択が成功の鍵となります。現在、いくつかの血管が使われていますが、いくつかの問題もあります。例えば、血管が細すぎる場合、手術中に問題が生じる可能性があります。そこで、私たちは新しい手術法を開発しました。この手術法では、大きな血管を使って皮弁を移植します。これにより、手術の成功率が高まり、患者の回復が早まることが期待されます。また、過去の症例を調査し、この手術法の効果を評価する予定です。この研究の目的は、膝周囲のケガや手術による皮膚や筋肉の損傷を治療するための新しい手術法を開発することです。この手術法の利点や効果を評価し、患者の回復を支援することを目指しています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん：2019年4月から2023年3月までに当院整形外科で大きな血管を利用した皮弁により、膝周囲の治療を行った患者様。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②手術や皮弁の情報
- ③皮弁の成績と合併症

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔問い合わせ先〕

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

JA北海道厚生連 帯広厚生病院

整形外科 担当医師 本宮真

電話 0155-65-0101